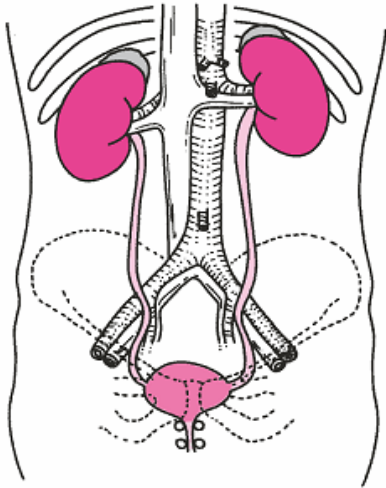


泌尿器



■腎臓は第（ ）椎～（ ）椎の高さに位置する。

■右腎の方がやや（ ）に位置する。

■腎臓は長さ（ ）cm、幅（ ）cm、厚さ（ ）cmで重さ約（ ）gである。

■1個の（ ）とそれにつながる1本の（ ）を腎臓の機能的単位として（ ）といひ片側の腎臓に約（ ）万個ある。

■腎小体（マルピギー小体）は、（ ）と（ ）からなり、腎臓の（ ）に存在する。

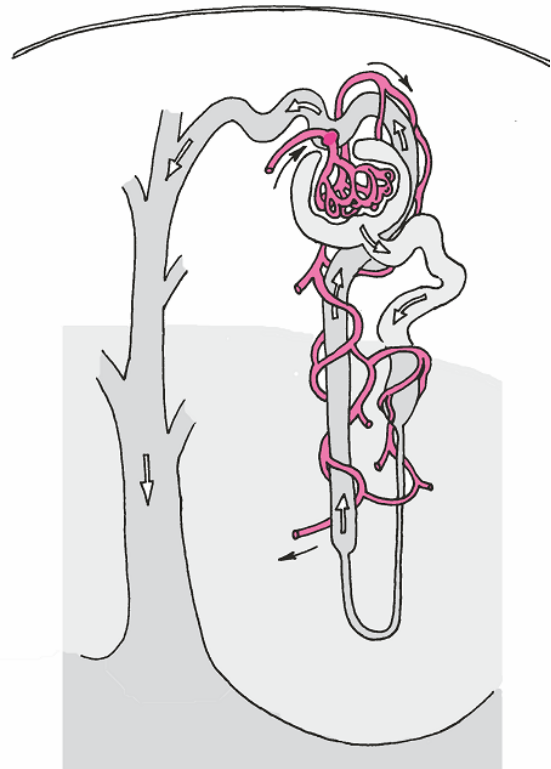
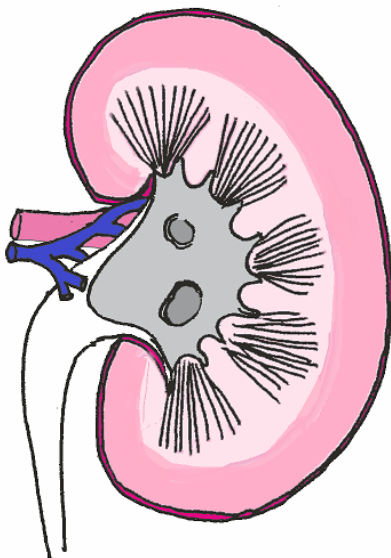
■腎皮質は腎髄質に比べて色が（ ）い。

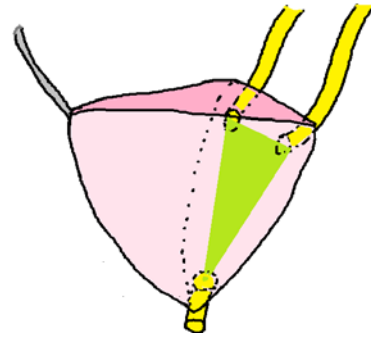
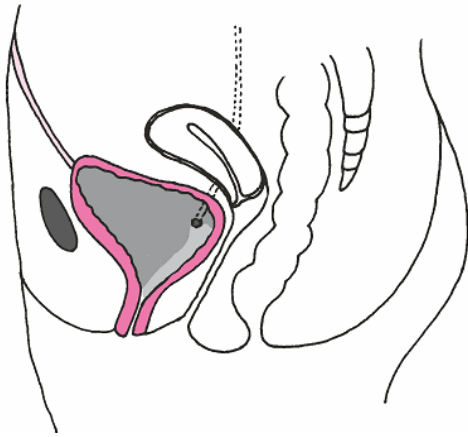
■糸球体で濾過された原尿は、糸球体⇒（ ）管⇒（ ）⇒（ ）管⇒（ ）管と流れ、腎乳頭から（ ）に開口する。

■尿は、腎杯⇒（ ）⇒（ ）⇒膀胱⇒（ ）と流れ排泄される。

■尿管は腎臓で生成された尿を腎盂から膀胱へ運ぶ長さ約（ ）cm、直径約（ ）mmの管である。

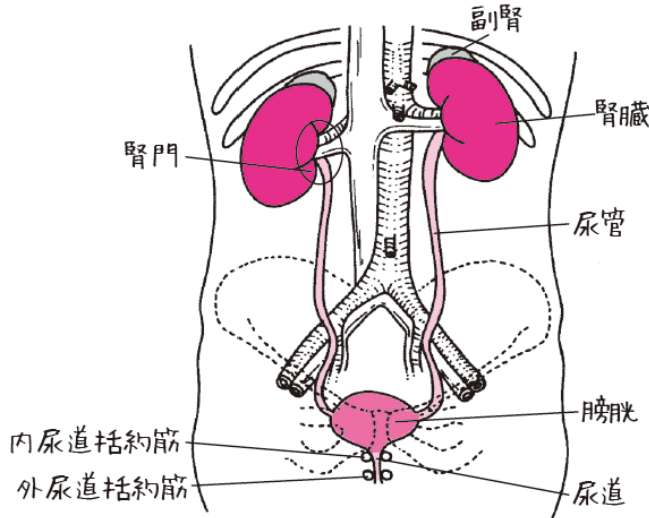
■尿管が膀胱の壁を約2cm（ ）ことで弁の働きをし、尿が腎臓から尿管へ逆流しない。





- 膀胱は（ ）骨盤腔の最も前に位置し、（ ）の後方で、男性では（ ）に接し、女性では（ ）に接する。
- 膀胱は前から（ ）、（ ）、（ ）の3部に区分される。
- 膀胱の下部で、内尿道口がある部位を（ ）という。
- 膀胱内面には（ ）ヒダが多く存在する。
- 膀胱底には（ ）と（ ）が開口し、それらを結ぶ部位が（ ）で粘膜ヒダに乏しく平滑で粘液腺に富む。
- 膀胱尖は前方に向いた頂で（ ）が付着している。
- 膀胱の筋は（ ）、（ ）、（ ）の3層からなり、（ ）筋という。
- 膀胱の容量は約（ ）mlであるが、個人差が大きい。
- 膀胱から続く内尿道口には、平滑筋の（ ）筋（（ ）筋）と、横紋筋の（ ）筋がある。
- 男性の尿道は（ ）cmで、途中で精巣からの精管⇒射精管が開口するため、精液の通路ともなる。また（ ）を貫いている。
- 女性の尿道の長さは（ ）cmである。

泌尿器



■腎臓は第(11胸)椎～(第3腰)椎の高さに位置する。

■右腎の方がやや(下方)に位置する。

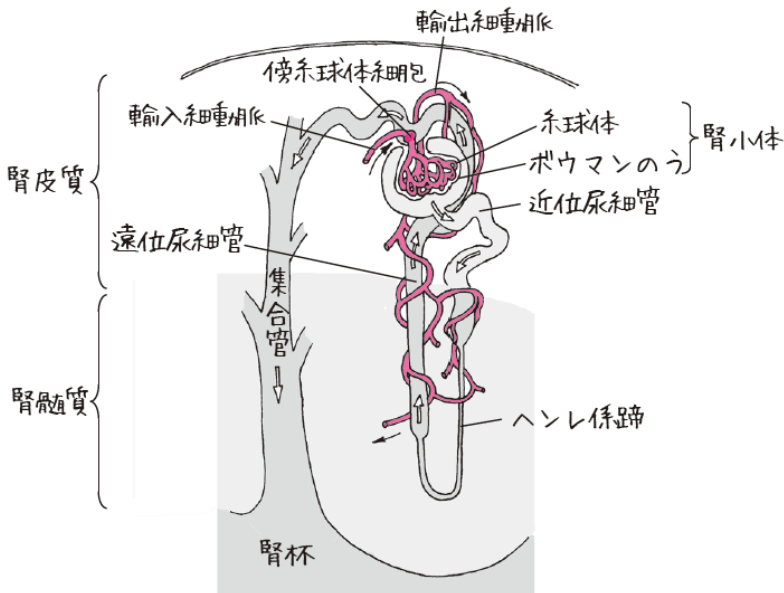
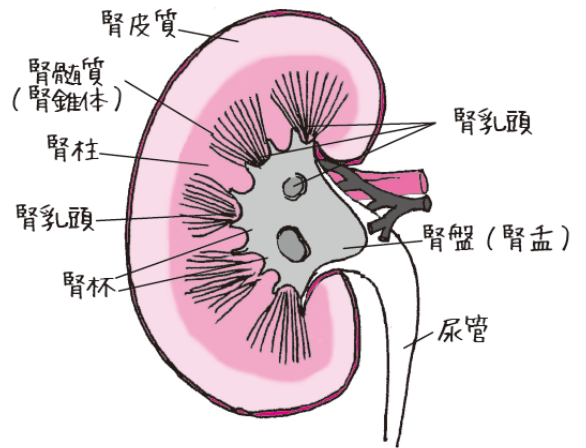
■腎臓は長さ(10)cm、幅(5)cm、厚さ(3)cmで重さ約(100~150)gである。

■1個の(腎小体)とそれにつながる1本の(尿管)を腎臓の機能的単位として(ネフロン)といい片側の腎臓に約(100)万個ある。

■腎小体(マルピギー小体)は、(糸球体)と(糸球体嚢(ボウマン嚢))からなり、腎臓の(皮質)に存在する。

■腎皮質は腎髄質に比べて色が(赤)い。

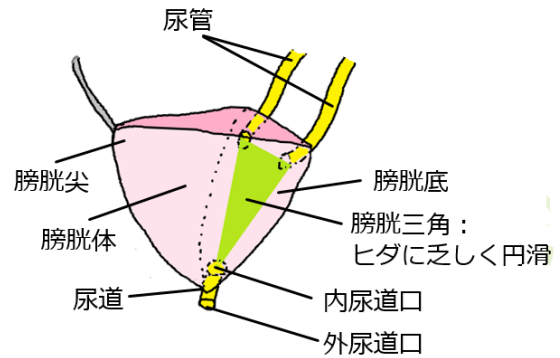
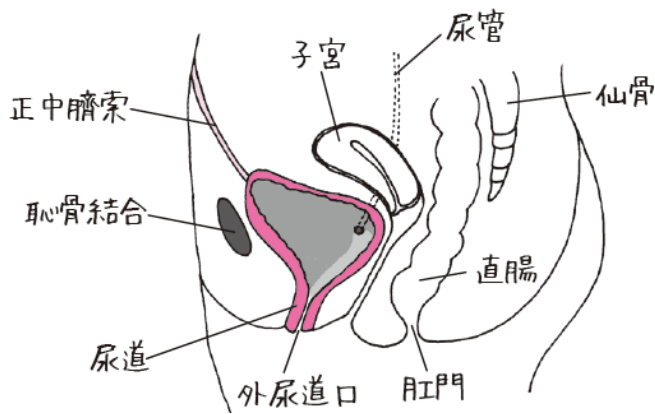
■糸球体で濾過された原尿は、糸球体⇒(近位尿管)⇒(ヘンレの係蹄)⇒(遠位尿管)⇒(集合)管と流れ、腎乳頭から(腎杯)に開口する。



■尿は、腎杯⇒(腎盂(腎盤))⇒(尿管)⇒膀胱⇒(尿道)と流れ排泄される。

■尿管は腎臓で生成された尿を腎盂から膀胱へ運ぶ長さ約(30)cm、直径約(5)mmの管である。

■尿管が膀胱の壁を約2cm(斜めに貫く)ことで弁の働きをし、尿が腎臓から尿管へ逆流しない。



- 膀胱は（ 小 ）骨盤腔の最も前に位置し、（ 恥骨結合 ）の後方で、男性では（ 直腸 ）に接し、女性では（ 子宮 ）に接する。
- 膀胱は前から（ 膀胱尖 ）、（ 膀胱体 ）、（ 膀胱底 ）の3部に区分される。
- 膀胱の下部で、内尿道口がある部位を（ 膀胱頸 ）という。
- 膀胱内面には（ 粘膜 ）ヒダが多く存在する。
- 膀胱底には（ 左右の尿管口 ）と（ 内尿道口 ）が開口し、それらを結ぶ部位が（ 膀胱三角 ）で粘膜ヒダに乏しく平滑で粘液腺に富む。
- 膀胱尖は前方に向いた頂で（ 正中臍索 ）が付着している。
- 膀胱の筋は（ 外縦筋 ）、（ 中輪筋 ）、（ 内縦筋 ）の3層からなり、（ 排尿 ）筋という。
- 膀胱の容量は約（ 500~800 ）mlであるが、個人差が大きい。
- 膀胱から続く内尿道口には、平滑筋の（ 内尿道括約 ）筋（（ 膀胱括約 ）筋）と、横紋筋の（ 外尿道括約 ）筋がある。
- 男性の尿道は（ 15~20 ）cmで、途中で精巣からの精管⇒射精管が開口するため、精液の通路ともなる。また（ 前立腺 ）を貫いている。
- 女性の尿道の長さは（ 3~4 ）cmである。